

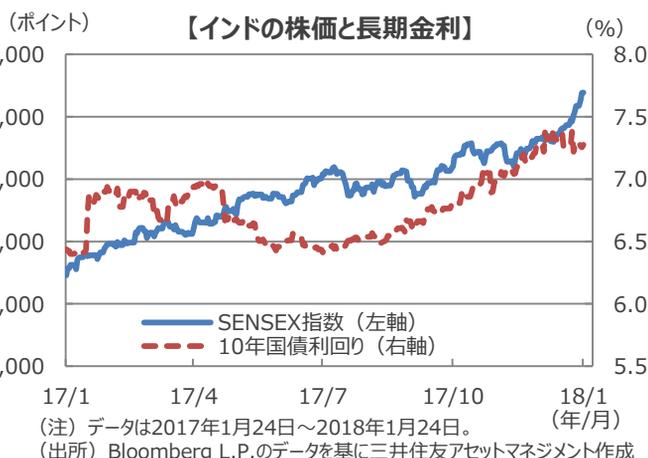
今日のトピック インドの経済・市場動向 (2018年1月-2号)

株式市場は高値更新、18年度予算案が注目される

【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)			
	1月24日	1週間	1か月	6か月	1年
為替レート					
円/ルピー (円)	1.71	▲1.5	▲3.1	▲0.7	2.7
ルピー/米ドル (ルピー)	63.69	▲0.3	▲0.5	▲1.0	▲6.5
金利					
政策金利 (%)	6.00	0.0	0.0	▲0.3	▲0.3
10年国債利回り (%)	7.28	0.1	0.0	0.9	0.8
株価指数					
SENSEX指数	36,162	3.1	6.5	12.1	32.1

(注) データは2018年1月24日基準。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成



ポイント1 インド株式市場は続伸 連日過去最高値を更新

- インド株式市場は好調を維持しています。世界的な株高やGST（物品サービス税）の税率引き下げ、順調な決算等を背景に、主要株価指数のSENSEX指数は36,000台に上昇し、連日最高値を更新しています。国際通貨基金（IMF）によれば、18年度の経済成長率は+7.4%と、17年度の+6.7%から上向き見込みであり、企業業績の拡大やモディ政権の経済改革への期待から資金流入が続いています。

ポイント2 消費者物価上昇率は上振れ 長期金利は7.3%付近で高止まり

- 17年12月の消費者物価上昇率は前年同月比+5.2%と、市場予想（ブルームバーグ集計）の同+5.1%をやや上回り、11月の同+4.9%から加速しました。景気回復下でインフレが加速していることに加え、財政収支の悪化が懸念されることからインドの長期金利は7.3%付近で高止まりしています。

今後の展開 注目材料：10-12月期業績発表と18年度予算案

- 17年10-12月期の業績発表は順調に始まっています。消費（Hindustan Unilever）、情報技術（Infosys）、銀行（Axis Bank）等の、重要な業種の主要企業の業績発表が事前予想を上回りました。これらの企業の純利益はいずれも20%以上の増益となっており、好調さが示されています。
- 2月1日に発表される政府の18年度予算案も注目されます。18年度予算案で積極財政が示された場合、債券市場は財政赤字拡大を嫌気する可能性があります。一方、株式市場は、財政拡大による経済成長の加速や経済改革への期待が上回り、堅調地合いを維持することが期待されます。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

ここもチェック! 2018年1月11日 インドの経済・市場動向 (2018年1月-1号) 2018年1月10日 アジア株式市場の見通し

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。